F2-7

伝統芸能の維持継承が地域に及ぼす効果に関する基礎的研究
―長野県長野市の獅子舞を事例として―

Basic Research on the Effects on Local Communities of Maintaining and Passing on Traditional Performing Arts
-A Case Study of Lion Dance in Nagano City, Nagano Prefecture-

○藤澤綾香 [1], 阿部貴弘 [2]
*Ayaka Fujisawa[1],Takahiro Abe[2]

Abstract: The purpose of this study is to clarify the relationship between the efforts of lion dance groups in Nagano City, Nagano Prefecture, and the ripple effects on the local community, and to maintain and pass on the traditional performing art of lion dance.

１．はじめに

伝統芸能を維持継承している団体は，近年の過疎化や少子高齢化等による担い手不足に加え，新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により，地域のお祭り等の中止・規模縮小を余儀なくされ，伝統芸能を維持継承するための活動を十分に行うことができない危機的な状況にある[1].

今後，伝統芸能を維持継承していく上では，様々な側面からの検討が不可欠であるが，その一側面として，団体の活動目的や伝統芸能が維持継承されることにより地域に及ぼす効果を明らかにする必要がある.

伝統芸能に関する既存研究では，伝統芸能の地域への在り方を明らかにした研究[2]や，継承方法の実態を明らかにした研究[3]，維持継承するための支援の在り方を提示する研究[4]は存在するが，各団体の活動目的と伝統芸能が地域に与える波及効果の関係性については十分な研究成果が得られているとは言い難い.

そこで本研究では，日本各地の地方都市で維持継承されている伝統芸能の中から「獅子舞」に着目し，少子高齢化や過疎化が進行していながらも，現在も多くの活動団体が確認されている，長野県長野市に位置する団体を対象に，各団体の活動目的と地域に及ぼす波及効果の関係を明らかにする.

２．研究対象

長野県教育委員会「長野県の民俗芸能」(1995 年)によれば，長野県の獅子舞は 550 団体もの分布が確認されている．また，小林幹男「信濃の獅子舞と神楽」(2006 年 8 月 10 日，信濃毎日新聞社)によれば，長野市を含む北信地方にはおよそ 260 団体の獅子舞が伝わっている.

本研究では，第 7 回ながの獅子舞フェスティバルへの出場した計 56 団体のうち，ヒアリング調査に協力していただいた 9 団体を対象とする.

３．研究方法

研究方法は **Figure1** の通りである.

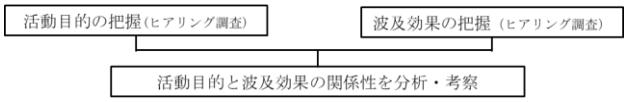

Figure1. Research Flow

４．結果と考察

４－１．活動目的の把握

ヒアリング調査によって得られた結果から，対象団体の活動方法に着目し，その結果を 4 種類に分類した(**Table1**)．対象団体の分類結果は **Table2** に示した.

Table1．Classification and Definition of The Purpose of Performing Lion Dance

分類番号	定義
A	衰退することなく継続的に継承できており，入会者が多く安定した活動ができている.
B	練習会後の懇親会などが充実しており，積極的にメンバー内で交流をしている.
C	子供たちに楽しんで地域活動に参加してもらうことを目的とし，子供の団体員を募っている.
D	今までの伝統芸能の在り方の域を超え，1つの地域に限らず活動の幅を全国に広げている.

Table2．Classification Number and Classification Organization

分類番号	分類団体
A	浅野神社神楽奉納保存会，追通神楽囃子方，犀川神社大々神楽保存会(差出)
B	加茂神社神楽ばやし保存会，湯谷神楽囃子保存会，川合新田神楽保存会墾和会
C	箱清水こども神楽保存会，瀬原田太々神楽保存会
D	善光寺平神楽奉納保存会

４－２．波及効果の把握

ヒアリング調査の結果を基に，対象団体が行なっている取り組みを抽出したところ，それらにより生じる波及効果は 6 種類に分類できた(**Table3**).

Table3．Initiatives and Ripple Effects

効果番号	波及効果	主な取り組み
①	交流関係の拡張	練習会の参加
②	資金調達のノウハウの蓄積	助成金の申請
③	地域行事への関心向上	発表の場を地域内に絞っている
④	地域の知名度向上	全国向けのイベントを企画開催している
⑤	地区内の団結力の向上	成果発表，地域住民のがお祭りに参加する
⑥	若者へ成長機会の提供	子供主体で獅子舞を行っている

１：日大理工・学部・まち　２：日大理工・教員・まち

４－３．活動目的と波及効果の関係性を分析・考察

各団体の活動目的(**Table1**)ごとに波及効果(**Table3**)を分類すると，**Table4** の結果が得られた．

Table4. Activity Purpose and Ripple Effect Classification Results

分類番号	効果番号					
	①	②	③	④	⑤	⑥
A	●		●		●	
B	●	●	●	●	●	
C	●	●	●		●	●
D	●		●			

まず，①の「交流関係の拡張」は，全グループに共通して効果が現れている．獅子舞団体に参加することで，普段交流がない地域内外の人と，練習期間やながの獅子舞フェスティバルへの参加を通して繋がりを持つことができるため，活動目的に関係なく現れる効果となった．

②の「資金調達のノウハウの蓄積」は，B と C グループに効果が現れている．潤沢な資金を持たず，有志からの寄付により活動を開始したことから，その後の安定した活動資金の調達に苦労した背景がある．その結果，多様な資金調達のノウハウがこれまでに蓄積されており，獅子舞団体に限らず資金が必要な地域活動に対して，その経験を活かすことができていると考える．一方，A グループは，活動の拠点を地域内に絞り，住民から活動実績が認められ，信頼を得たことから，継続的な支援を受けることができている．D グループである善光寺平神楽奉納保存会は，善光寺周辺の 17 団体で構成されている団体であり，地域を跨いでの活動が可能となっている．善光寺をはじめとした様々なイベント，企業の獅子舞依頼に応え活動をしているため，協賛企業が付き，継続的な支援を受けることができている．その結果，A，D グループは，安定した資金調達ができている．

③の「地域行事への関心向上」は，全グループに共通してその効果を現している．その理由として，中でも A，B，C グループは，主とする拠点を持ち，地域の方に対して，育成会や町内会と連携して人を集め，体験会やお披露目会等を行っている．その結果，獅子舞に限らず，地域内の他団体が行っている活動を知るきっかけとなっているのではないかと考える．一方，D グループは，主な活動拠点は持たないが，幅広い地域に獅子舞を奉納しているため，長野市の獅子舞を広く一般に知らせることができ，多くの人が個々の地域内でも行われているそれぞれの獅子舞に興味を持ってもらうことに繋がっているのではないかと考える．

④の「地域の知名度向上」は，D グループにのみ効果が現れている．D グループは，前述したように地域を跨いで活動しており，特にその代表例といえる，ながの獅子舞フェスティバルの企画・運営は，長野市の獅子舞を観光の目玉にするために，ソーシャルメディアや出張神楽の機会を活用して全国にアピールしている．その結果，他の地域からも，ながの獅子舞フェスティバルのへの関心が高まり，獅子舞と共に地域の認知度の向上に寄与している．それができるのも地域を越えて活動しているためと考える．

⑤の「地域内の団結力を高める」は，D グループ以外でその効果が現れている．その要因として，主な拠点がない D グループは，地域に根ざした秋季大祭などのお祭りがないためその効果が現れないと考える．一方，D グループ以外では，お祭り開催時に地域住民が提灯を持ち，お祭りに参加してもらう取り組みや，地域住民に対して 1 年間の成果発表を行うなど，積極的に住民と関わりを持つ工夫をしている．その結果，「お祭りの雰囲気が忘れられない」，「お祭りを手伝い，獅子舞に興味を持った」等の理由で団体に参加する人が増え，地域内の繋がりを強化している．

⑥の「若者への成長機会の提供」は，C グループにのみ効果が現れている．その要因として，C グループは，公民館活動の一環，もしくは公民館と協力し，子供たち主体で活動をしている．その結果，子供たちは課外活動として伝統芸能に関わっており，例えば各楽器のリーダーを務めるなど，活動を通して若者のリーダーシップや協力のスキルを磨く機会になっている．

５．まとめ

本研究では，各団体が後継者不足等の様々な課題を抱えながらも，地域に対してどのような目的で活動を行い，それにより，地域へどのような効果があるのかを明らかにした．今後は，引き続きヒアリング調査を進めると共に，併せてアンケート調査を行いながら，各団体の地域に対する取り組みとその効果を明らかにし，伝統芸能「獅子舞」の維持継承するための要因を明らかにしたい．

６．参考文献

[1] 長野市：「伝統芸能継承団体調査結果」(令和 3 年度)(最終閲覧日 2023 年 10 月 1 日)
(https://www.city.nagano.nagano.jp/documents/3595/757423.pdf)
[2] 井上果子：「山間地の伝統文化継承に見る新たな農村文化担い手の形」，農村計画学会誌 Special_Issue 号，36 巻，pp. 375―382，2017 年
[3] 瀬田史彦：「無形文化財としての伝統芸能の保存継承と地域の支援のあり方に関する研究」計画行政，36 巻 3 号，pp. 36―44，2013 年
[4] 木谷忍，長谷部正，飯塚聖司：「持続可能な地域づくりのための伝統文化活動の可能性」，地域学研究，41 巻 3 号，pp. 731―744，2011 年